hyper-QU を活用した温かい学級づくりを考える　その２

安芸市教育研究所　特別研究員　吉本慶子

　Ａ市における児童生徒の不登校の解消は積年の課題である。そこで、Ａ市では、昨年度から２年間「温かい学級づくり応援事業」重点支援地域の指定を受け、『よりよい人間関係づくりのできる子どもたちの育成』につながる温かい学級づくりを目指して取り組んでいる。

昨年度は研修会の実施が取組の中心であったが、今年度は、その知識をもとに各校で実践していくことをテーマとし、小学校に比べ不登校が多い中学校に重点をおいて取組を進めた。

ここでは、今年度のＡ市全体における取組とＢ中学校の年間を通した取組について報告する。平成24年度と25年度の取組の成果を比較検討した結果、hyper-QUの「学級生活満足群」の割

合は増加し、各学校で人間関係づくり等の予防的な取組が意識され、行われてきていることが明らかとなった。不登校についてはまだ課題のある状況であるが、中1ギャップ解消に向け、小中連携、小小連携が行われつつある。この２年間の成果を次年度以降につなげていくことが今後の課題である。

キーワード：hyper-QU、不登校、温かい学級づくり